

(株) ベイ・コマース 中小企業・SDGs ビジネス支援事業に採択 ～タイの中山間地バナナ農家の収入向上に貢献～

国際協力機構（JICA）は、2023年12月25日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」（下部※参照）において、株式会社ベイ・コマース（神奈川県横浜市、片岡 貴之 代表取締役・社長）が提案するニーズ確認調査を採択しました。詳細は以下の通りです。

●株式会社ベイ・コマース

「タイの農家と日本の消費者双方の課題解決を図る、タイ産バナナの品質向上にかかるニーズ確認調査」

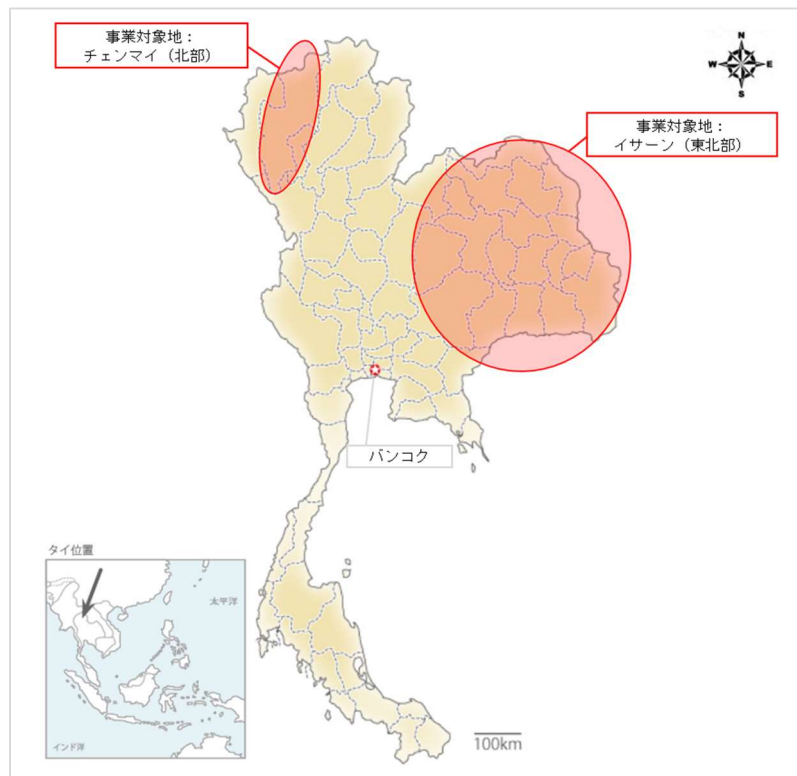
タイ国は、2022年に日タイ修好135周年を迎え、両国間関係を「包括的戦略的パートナーシップ」に格上げ、約5,800社に上る日系企業（2021年時点、JETRO）が進出する等、タイの社会・経済発展と日タイ間の経済関係のさらなる緊密化が期待されています。2011年に中進国入りを果たした同国は、持続的な発展のため重点産業における産業競争力強化や高付加価値化等を掲げており、農業はそのひとつです。

提案事業は、タイ東北部のイサーンと北部のチェンマイ（地図参照）において、ベイ・コマースの強みである、日本全国の量販店やECサイト等の販路及び、生産技術指導による品質の向上を行い、消費者ニーズを踏まえた商品展開等、生産から販売まで一貫したビジネスモデルを検証する予定です。また、日本では流通量が少なく、今後、取扱拡大が期待される、サクサクとした食感とさっぱりした味が特徴の「高地栽培型グロスマッシュ種バナナ（ハイランドGM種）」の栽培に取り組みます。

本ビジネスは、現地企業やバナナ農家と協働しながら、都市部の1/4程度である同地域の収入・生計向上と産業創出・活性化への貢献とともに、持続可能な開発目標（SDGs）のゴール1「貧困」、SDGsゴール9「イノベーション」の達成への貢献も期待されます。



現地のバナナ農家



タイ及び事業対象地地図

※ 本事業は、中小企業・SDGs ビジネス事業「ビジネス化実証事業」として実施されます。同事業は、途上国の課題解決に貢献し得る技術・製品・ノウハウ等を活用したビジネスアイデアやODA 事業での活用可能性の検討、ビジネスモデルの策定を目指すものです。詳細は、下記関連リンクをご参照ください。

【関連リンク】

「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」概要：

https://www.jica.go.jp/activities/schemes/priv_partner/activities/index.html

2023 年度採択についての記事：https://www.jica.go.jp/information/press/2023/1527096_25245.html

株式会社ベイ・コマース：<https://www.bay-commerce.com/about/>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 横浜センター 民間連携事業班 担当：吉田、早川

TEL：045-663-3253 Fax：045-663-3265 E-mail：YICTPP@jica.go.jp

HP：<https://www.jica.go.jp/domestic/yokohama/index.html>